

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	各種申請の認可に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月31日 経済産業大臣に2019年度抛出金単価の認可を申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第36回運営委員会(5月30日)の議決を受け、5月31日に、経済産業大臣に対して2019年度抛出金単価の認可を申請。</li> </ul>
2	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>① 契約履行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月23日 返還ガラス固化体貯蔵管理状況の現地確認</li> <li>5月30日 品質保証活動について日本原燃から聴取</li> <li>6月3日 日本原燃の品質保証活動状況(再処理)の確認結果を通知</li> </ul> <p>② 事業変更許可補正申請に係る取組み確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月30日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯蔵管理状況(2018年度分)の現地確認を実施。2018年度は返還ガラス固化体の新規受入れがなかったこと、また、日々の貯蔵管理(2018年度末:1,830本)として、設備の運転状況等の点検、冷却性能検査や収納管排気サンプリング(放射性物質モニタリング)が適切に実施されていることについて、日本原燃の社内規定に基づき作成・保管された記録にて確認。</li> <li>日本原燃から、以下の取組み等について確認。 <ul style="list-style-type: none"> <li>全設備を管理下に置くための活動の最終段階として、原子力発電所の保守管理規程(JEAC4209)に準拠した保守管理ルールの制定と点検計画の策定に取組中。</li> <li>4月初めから10週間程度の保安検査を検査官のフリーアクセスにより実施。</li> </ul> </li> <li>機構としては、引き続き、日本原燃の保安規定違反の再発防止対策を含む改善活動の取組状況を確認するとともに、確実な実施を促していく。</li> <li>3月14日、15日の立入調査による品質保証活動状況の確認結果は「良」と通知。</li> <li>日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、保守管理の強化や技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月23日の審査会合にて、追加的な確認事項等のうち、航空機落下、重大事故等について説明。</li> <li>5月9日より、出戸西方断層のデータ拡充に係る地質調査を開始。</li> <li>5月24日の審査会合にて、活断層及び火山影響評価等に係るデータ拡充について説明し、降灰シミュレーションについても実施することとした。</li> </ul> </li> <li>機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを工程管理の一環として確認していく。</li> </ul>
3	2018年度第4四半期収入・支出の報告に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月25日 2018年度第4四半期の収入・支出を経済産業大臣へ報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務会計省令第13条に基づき、第4四半期の収入・支出について、合計残高試算表により経済産業大臣へ報告。</li> </ul>